

授業科目	保育所実習Ⅱ				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	篠木 賢一										
授業概要	この実習では、「保育所実習Ⅰ」で体験的に学んだ、保育所での乳幼児の生活の様子、乳幼児の発達についての理解、保育所の機能や保育士の役割などに基づいて、実際に保育に参加し、保育士として必要な資質・能力・技能を学ぶことを目的とする。さらに、家庭や地域社会の生活実態にふれ、子育て支援に対する理解や能力を養うことを目的とする。なお、実習園では実務家による指導を受ける。										
授業形態	実習 (10日間)		授業 方法	保育所での実習							
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育全般に参加し、習得した保育技術を実践に活かすことができる。 2. 乳幼児の個人差について理解し、子どもへの対応方法を実践できる。 3. 指導計画を立案し、それを実践できる。 4. 様々な保育ニーズについて理解し、保護者や地域社会との連携を説明できる。 5. 子どもの最善の利益への配慮を通して、保育士に求められる資質について説明できる。 6. 実習を通して自己の課題を明確に示すことができる。 <p>達成すべき行動目標が実施できている。</p>										
理想的 レベル	標準的なレベルに加え、貴重な現場体験を活かし、子ども観・保育観を深め、かつ実習園から保育士としての資質を認められる評価を得られる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)			備考							
試験											
小テスト											
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物	50%			実習日誌や各種提出物							
その他	50%			実習施設からの評価表等							
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	CH31605J
学習課題 (予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
1日の実習を振り返り、実習日誌に記述する。										1	
授業計画											
第1回	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所での事前オリエンテーション 2. 保育所での実習 「保育所実習Ⅰ」の内容に加え、以下の項目について実習で学びと経験を深める A) 実習生としての態度として以下の内容に努める 										

	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲・積極性をもった実習を行う ・責任感をもって実習に取り組む ・探求心をもって実習に取り組む ・他の保育士や職員と協調性をもって取り組む <p>B) 実習生としての知識や技能を養うために以下の内容に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の役割および保育士の職務の理解に努める ・子どもの理解と援助を行う <p>3. 実習のまとめ、反省、今後の課題設定</p>
<p>テキスト</p>	<p>内閣府・文部科学省・厚生労働省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』,チャイルド本社</p>
<p>参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介</p>	<p>なし</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>実習日誌や実習施設からの評価表等を用いて、実習事後面談を行います。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>「保育所実習Ⅰ」の単位取得者であり、「保育実習指導Ⅱ」を履修し実習の実施要件を満たしている者</p> <p>各自で実習の目標が達成できるように、教材開発や教材研究等を積み重ねておくこと。</p>